東京教区時報

きょうくニュース

第３３１号
2019 年 4 月 14 日
日本聖公会東京教区
港区芝公園　3-6-18
編　集　広報委員会
委員長　渡 辺 康 弘

WEB:http://nskk.org/tokyo/index.html　E-MAIL:comm.tko@nskk.org　Phone:03-3433-0987　Fax:03-3433-8678

◇４月の代祷・信施奉献先

▽エルサレム教区のため（受苦日19日）▽つきしまキッズデイ▽児童養護施設のため▽月島聖ルカ保育園のため▽カルト問題キリスト教連絡会の働きのため

◇聖木曜日・聖金曜日礼拝

司祭按手の約束の更新
聖香油聖別の聖餐式
日時：４月18日（木）11時～
場所：聖アンデレ主教座聖堂
司式・説教：髙橋 宏幸主教

聖餐制定記念・洗足式
日時：４月18日（木）19時～
場所：聖アンデレ主教座聖堂
司式・説教：髙橋 宏幸主教

受苦日礼拝
日時：４月19日（金）正午
場所：聖アンデレ主教座聖堂
司式：井口 諭司祭
説教：髙橋 宏幸主教

▽外濠教会グループ　聖週の合同礼拝のご案内
場所：目白聖公会

『聖木曜日　聖餐制定記念聖餐式・洗足』
日時：４月18日（木）19時～
司式：髙橋　顕 司祭
説教：太田 信三 司祭
信施奉献先：シャローム会の働きのため

『聖土曜日　イースターヴィジル～復活のろうそくの祝別』
日時：４月20日（土）18時～
司式：太田 信三 司祭
説教：髙橋　顕 司祭
※献金は行いません。
主催：外濠教会グループ／目白聖公会、牛込聖公会聖バルナバ教会、東京諸聖徒教会、東京聖テモテ教会

▽ランチタイムパイプオルガンコンサート
日時：４月17日（水）12時20分～50分
場所：神田キリスト教会
演奏：都築由理江
入場：無料（自由献金有り）

▽ランチタイムコンサート
日時：５月３日（金）12時20分～50分
場所：聖パウロ教会
演奏：石丸 由佳（オルガン）

▽教区青年会・土曜定例プログラム
「マルコによる福音書を読む」
日時：４月27日（土）14時～16時
場所：東京諸聖徒教会
対象：18～35歳（高校生除く）
参加費：無料
申込み：不要

教会への所属は問いません。対象世代の方は、どなたもお気軽にいらして下さい！
※お子さんとご一緒におこしのかたは、保育ボランティアの準備がありますので、４月19日（金）までにご連絡下さい！

毎月行っている「例会」ではマルコによる福音書を少しずつ読み進めています。

この青年会では、「正解を探す」「理解する」ではなく、その日の気持ちで読んでそれ

今週・来週の予定
４月１４日～２７日

１４（日）復活前主日
　　牧師任命式　聖アンデレ教会
１６（火）常置委員会
１７（水）教役者レクイエム
１８（木）司祭按手の約束の更新
　　聖香油聖別の聖餐式
　　聖餐制定記念・洗足式
１９（金）受苦日礼拝
２１（日）復活日
　　牧師任命式 神田キリスト教会
２２（月）聖職養成委員会
２３（火）礼拝音楽委員会
２４（水）資料保全委員会
２６（金）信仰と生活委員会
２７（土）教区青年会（東京諸聖徒）

をシェアすることを大切にしています！

詳しい場所や、プログラムの内容は青年会ＳＮＳにアップしています。ご確認下さい！ Instagram/Twitter ⇩ @tko_seinenkai Facebook ⇩ @tko.seinenkai

問　合　先：seinenkai.tko@gmail.com

▽きぼうのいえ認定ＮＰＯ法人取得記念シンポジュウム　あたたかな居場所を求めて―山谷から「共に生きる」を考える

日時：４月20日（土）15時～18時

場所：福祉プラザ台東清峰会「浅草ほうらい」１階地域交流スペース

講演とパネルディスカッション：参加者：１００名（先着順）

参加費：無料

主催：きぼうのいえ（理事長下条裕章）

申込み：mail:kibounoie777@nbr.nifty.com

▽テントオブネーションズ写真展

日時：５月末日まで、原則日曜日９時から５時

場所：阿佐ケ谷聖ペテロ教会

パレスチナ人農家の信念は「私たちは決して敵にならない」。アートを通じて内なるミッションと外なるミッションを考えたり、感じたいと企画しました。どなたでもご覧になれます。聖餐式からの出席も大歓迎です。

◇初陪餐

1月27日　三光教会

▽田邊 朋子（三光）

3月24日　三光教会

▽山谷 尚子（三光）

◆とこしえの平安

4月5日　難波　博幸（86）　インマヌエル新生

［奉献先紹介］エリザベス・サンダース・ホーム

「つながる思い」

生あるのも、ないのも、まるでぼろくずのように、あるいは道ばたに、あるいは川の中に…。日本進駐がはじまった翌年に、澤田美喜は運命の子どもたちを目の当たりにした。ある日の列車内、網棚から新聞紙に包まれたものが手元に落ちてきた。嬰児の遺体だった。まるで詰問するかのような周囲の視線を浴びながら、この仕事に余生を捧げる決心をした。ロンドンでの献身を思い出す。子どもの幸福のために、学校があり、教会があり、職業教室があり、工場があったドクター・バーナードス・ホーム。希望の家には、一人として暗い顔をしている子どもはいなかった。「あわれなる子どもたちをかわいそうだと頭をなでるだけでなく、あなた自身があわれなものだとみんなから頭をなでられなければ成功しませんよ」。バーナードス博士の一言が耳の底にはっきりと残っていた。

終戦から２年半、１９４８年２月１日にエリザベス・サンダース・ホームは創設しました。澤田美喜園長のあふれる愛情が架け橋となって、子どもの幸福を願う思いは長い歴史とともに紡がれてきました。

現在は、定員89名の児童養護施設として、９つの寮に分かれて子どもたちと暮らしをともにしています。ご飯を食べて、歯磨きをして、寝ぐせをなおす。学校へ行って、勉学に励んで、仲間と語り合う。元気よく遊び、時には喧嘩して、仲直りする。宿題をして、本を読んで、今日の出来事を伝え合う。当たり前のように過ぎていく恵まれた日々。それは、かけがえのない一瞬の連続でもあります。今日も、明日も、明後日も、私たちは子どもたちの幸せを願い、同じ時を共有します。今までがそうであったように、これからもずっと…。

施設長　山田 和信

［お知らせ］

教区事務所　休業

4月19日（金）12時～15時受苦日礼拝出席のため、休業いたします。